

# 井泉



令和3年8月27日  
富山県立八尾高等学校  
井泉会

TEL (076) 454-2205

FAX (076) 454-5999

URL <http://www.tym.ed.jp/sc344/>  
E-mail [yatsuo-hs@tym.ed.jp](mailto:yatsuo-hs@tym.ed.jp)

## SEISEN No.141



第70回体育大会

### コロナ禍に思う



井泉会会長

坪田 貴博

今年度、井泉会会長という大役を受けさせていただくこととなり、大変不慣れではありますが、少しでも皆様のお役に立てるよう、微力ながら頑張ります。

昨年度から引き続きコロナウイルス感染防止に努めながらの新年度スタートとなりました。学校教育現場においても様々な制限が強いられ、教育活動としてPTA活動が思うように出来ない状況が続いております。子供たちは、今までに経験したことのない事態に、大きな不安やストレスを抱え、日々の学校生活を過ごしていると思います。そのような環境におかれましては、子供たちの学校生活を充実させるために、日々尽力して下さっている先生方には心から感謝申し上げます。

一方で、コロナ禍において学校でのイベントが中止および縮小されている中、子供たちの新たな一面を発見する機会が多かったと思います。それに伴い、子供たちも親と過ごす時間が増えることで、より強固な絆ができあがったと思います。

この経験を生かして、親子共に成長できるように頑張っていきたいと思います。先生方、保護者の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

### 地域社会と学校



校長

福島 浩一

保護者の皆様には、日頃より本校教育活動の振興にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、私たちもそうですが、お子様に對し、「将来の夢は」「どんな仕事か」「どのくらいか」と問うことが多くありませんか。このような問いは、彼らを追い詰めてしまうことになっているのでは、と感じることがあります。それは自分や社会について十分に理解していないなかで、その答えを出すために、知っている職業のなかから無理やり夢を創り出すことにつながっていないかと考えられるからです。

彼らは将来大人になって、私たちが暮らす地域社会の担い手となります。しかし、そのような自覚を持っている生徒は少数だと思えます。それでも自身が直接関わっていることや、自分と近い人が抱えている課題には当事者意識を持つことができるはずで、彼らが地域に出て、多くの大人と交流・協働する機会を設ければ、関わる大人が取り組んでいる課題に、大人を通して繋がることのできるでしょう。「あんな大人になりたい」と思える大人に出会い、その大人がどんな生き方・働き方をしているのか、どんな力を発揮しているのか、それを目の当たりにすることで、将来のありたい姿を描くことができ、社会に出るまでにどんな準備をしていく必要があるのかを考えられるようになるはずです。

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校は地域との連携・協働を一層進めたいと考えています。そして保護者の皆様には一層のご支援をお願いしたいと存じます。



## 保護者のひろば

### コロナ禍に

広報委員長 齊當 真紀

月日の経つのは早いもので、娘はもう三年生になりました。世の中何が起こるか分からないもので、昨年からは続く未曾有の災禍で生活の不自由を感じることも多くあると思います。そんな中でも、目標を持って勉強に励んだり、できる範囲での遊びを楽しんだりしている姿を見ると感心します。また、学校が自分にとってどんな場所なのか考える機会にもなったことでしょう。日々多くの感染者が出ている状況ですが、その方々が一日も早く元気になることを願う思いやりの気持ちを大切に、みんなで乗り越えていきたいと思います。

### おわら検定1級

広報委員 金光恵美子

「おわら検定1級取れた。」最近はお口数も減り、学校の様子などあまり話してくれない子供が帰宅早々話して

くれました。見たこともなかったおわらを踊れるようになったのは、八尾高校に入学したおかげ。

偶然出会った事柄でも、それがきっかけで好きになったり、粘り強く取り組むうちに自信に繋がったりすることがあります。子供たちは将来何をしたいかまだ決まっていないと思いますが、高校生活での様々な出会いがきっかけに繋がっている、そう信じて今を精一杯生きて、自分の進むべき道を見つけてくれればと願っています。

三年後、成長した我が子を見ることが今から楽しみです。まずは今年の体育大会では見る事ができなかった「おわら」を見たいですね。



## 吹奏楽部定期演奏会

### 演奏できる喜びと成長を感じて

34 HP 有井千亜紀

五月四日、婦中ふれあい館にて定期演奏会が行われました。まだコロナ禍の中無事に三年最後の演奏会が出来るか当日まで心配していましたが、想像を超える沢山のお客様に見に来ていただき、開催することが出来ました。総勢五十一人になり、ますます賑やかになった部員たちの演奏やダンス、



そして一年生のドラえもんの見事な絵と、あつという間の時間でした。演奏も昨年以上に力強くなり、先生方のご指導と関係者の方々のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

娘も昨年とは違い、部長として緊張やプレッシャーの中、大好きな打楽器を演奏できる喜びを感じている様子を見ることが出来、また成長も感じられ親として良い経験をさせてもらえたと思っております。

短い高校生活最後の年にいろいろなことを学び、これからの人生に役立ててほしいと思います。いろいろな経験をさせてくれてありがとうございます！

### 吹奏楽部定期演奏会

22 HP 茗ヶ原幸恵

息子が入部して約一年が経ち、二回目の定期演奏会でした。高校生になって、新しいことに挑戦する姿をそばで見られました。舞台を楽しむために不安が残らないよう練習を重ね、当日は



大勢のお客さんの前で堂々と演奏する姿を見ることができ、驚きや嬉しさでいっぱいになりました。これも、顧問の先生方を始め、講師の先生、OG・三年生の先輩方のご指導やサポートのおかげです。心より感謝申し上げます。

来年は部員を引っ張っていく立場として、お客さんにもちろん、自分たちが思いつきり楽しめる最高のステージを作ってくれたいと思います。

## 郷土芸能部引退公演

### 引退公演での成長

33 HP 酒井 貴子

おわら風の盆も見たことがなかった娘が、郷土芸能部へ入部し、早三年。沢山の練習を重ねてきました。おわら踊り、三味線の本場の技術を学べたことは、諸先生方や地域の保存会の方々のご指導があつてのことと感謝しております。

娘は、昔から人前での発表が苦手でしたが、部活動の仲間と共に叙情豊かな踊りや幻想的な三味線を奏するまでになりました。その姿から大きく成長したと感



動し、涙腺がゆるみつつ観ていました。また、部活動の仲間と練習を重ね発表したことは、これからの人生において団結力や達成感を育み、共に苦境を乗り越える力を付けたと感じています。このような素晴らしい部に入部できたことと娘が大きく成長できたことに感謝すると共に、最後に素晴らしい郷土芸能部の益々のご活躍が全国へと広がっていくことを期待しています。

### 令和三年度郷土芸能部引退公演を觀賞して

24 HP 武田 誠司

コロナ禍が長期化している影響で、三年生八人の集大成である舞台を、保護者



の皆さんやおわら保存会の方々、一般の多くの方々に披露出来なかったことを観ていた全員が悔しく思っていたに違いありません。ただ、羨望されるのを承知で感想を述べます。公演前に発表された例年より七日遅い梅雨入りの通り、当日早朝から降りしきる雨の中、コロナ感染対策で一人一人の間隔が広く取られていることに起因している貸切のような静寂。バチの音や、弓の音が聴こえてくるような錯覚、唄の間の息継ぎ、法被や浴衣、足袋から目で見えるような衣擦れや床を踏む振動。三味線、胡弓、太鼓、囃子、唄、そして微かな雨の音。三年生の晴れの舞台に、梅雨をお供に季節ももせて、まさに一期一会の公演でした。

## PTA活動報告

### 富山地区指導者研修会

富山地区指導者研修会が、六月三十日(水)に富山いずみ高校で行われ、中央農業、富山、富山中部、富山東の順に各校のPTA会長からPTA活動について報告(紹介)があった。

各校、講演会や研修会、体験学習など、さまざまな活動を通して子供に寄り添いながら共に考え悩み喜ぶ様子が感じられた。

特に、子供が持つスマートフォンについて話し合う機会を作っているという報告が多く、進路と並び多くの親の関心事項であることが分かった。



### 富山県社会教育大会

七月三日(土)、第四十九回富山県社会教育大会が婦中ふれあい館にて行われた。新型コロナウイルス感染症予防のための人数制限により、例年の半数程度の約二百三十名の参加となった。本校からは安井基一教頭が参加した。映画監督の本木克英氏の「米騒動映画化の軌跡」と題した講演では、撮影秘話から県内の魅力を再認識することができた。また、社会教育団体による実践発表、社会教育功労者の表彰式などが行われた。



# 令和3年度 1学期 部活動成績

## <ボート部>

### ◎第66回 中日本レガッタ

高校男子ダブルスカル	1位	村上 泰雅	塚本 陽太
高校女子ダブルスカル	1位	藤谷 愛華	田知本遥奈
	6位	秋元 若那	桐山 希
高校女子シングルスカル	3位	松井あやな	
	5位	布村 紗雪	



### ◎令和3年度 富山県高等学校総合体育大会 ボート競技大会 (第29回富山県高等学校ボート選手権競漕大会)

男子シングルスカル	2位(北信越大会出場権獲得)	沼田 悠太				
男子ダブルスカル	1位(インターハイ出場権獲得)	村上 泰雅	塚本 陽太			
男子舵手付きクォドルブル	2位(北信越大会出場権獲得)	深山 玄樹	古川 聖馬	大郷 海	増山 載笑	
		森沢 蓮				
女子シングルスカル	1位(インターハイ出場権獲得)	松井あやな				
女子ダブルスカル	1位(インターハイ出場権獲得)	布村 紗雪	桐山 希			
女子舵手付きクォドルブル	1位(インターハイ出場権獲得)	藤室 颯月	藤谷 愛華	田知本遥奈	藤田 蘭	
		秋元 若那				

### ◎令和3年度 北信越高等学校体育大会 ボート競技

男子ダブルスカル	1位	村上 泰雅	塚本 陽太			
女子舵手付きクォドルブル	2位	藤室 颯月	藤田 蘭	藤谷 愛華	田知本遥奈	秋元 若那
女子総合	2位	桐山 希	藤田 蘭	藤谷 愛華	松井あやな	田知本遥奈
		布村 紗雪	藤室 颯月	秋元 若那		

### ◎第42回 北信越国民体育大会 ボート競技

少年男子ダブルスカル	2位	富山選抜(三重国体出場権獲得)	村上 泰雅	塚本 陽太
少年男子舵手付きクォドルブル	2位	富山選抜(三重国体出場権獲得)	大郷 海	
少年女子シングルスカル	3位	富山選抜	松井あやな	
少年女子舵手付きクォドルブル	富山選抜(三重国体出場権獲得)	藤室 颯月	藤田 蘭	藤谷 愛華
		田知本遥奈	秋元 若那	

### ◎令和3年度 全国高等学校総合体育大会ボート競技大会(第69回全日本高等学校選手権競漕大会)

男子ダブルスカル	6位入賞	村上 泰雅	塚本 陽太
----------	------	-------	-------

## <陸上競技部>

### ◎富山県陸上競技選手権大会 女子ハンマー投 5位 平野 瑠花

### ◎第74回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会

女子ハンマー投	1位(北信越大会出場権獲得)	平野 瑠花
男子5000m競歩	7位	本田 啓介
男子4×400mリレー	8位	谷本 拳陽 菅野 雄太 清水 康平 井坂 翔

### ◎北信越高等学校体育大会 第60回北信越高等学校陸上競技対抗選手権大会

女子ハンマー投	8位(記録 37m62)	平野 瑠花
---------	--------------	-------

## <ソフトボール部>

### ◎第17回富山市民体育大会 ソフトボール競技 2位 八尾高校・富山中部高校合同チーム

## <吹奏楽部>

### ◎第49回 富山県吹奏楽コンクール 高等学校B部門 金賞(富山県代表)

### ◎第62回 北陸吹奏楽コンクール 高等学校B部門 金賞(北陸代表)

### ◎第45回 全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021) 出場



**廣報委員会**  
 坪田 貴博 (井泉会会長)  
 奥井 良樹 (井泉会副会長)  
 齊當 真紀 (広報委員長)  
 金光恵美子 (広報委員)  
 須田 裕子 (広報委員)  
 辻 寛 (副校長)  
 飯田 康信 (総務部長)  
 網 早苗 (総務部)  
 北村 真琴 (総務部)

令和4年  
 1月11日(火)  
 3学期始業式  
 3月1日(火)  
 卒業式  
 3月24日(木)  
 3学期終業式



**今後の予定**  
 9月21日(火)~28日(火)  
 TAKANAKI WEEK  
 親子の懇談会  
 9月28日(火)  
 10月15日(金)  
 井泉会研修会「大人の遠征」  
 10月16日(土)  
 進路懇談会(1学年・2学年)  
 12月22日(水)・23日(木)  
 個別保護者懇談会  
 12月24日(金)  
 2学期終業式